

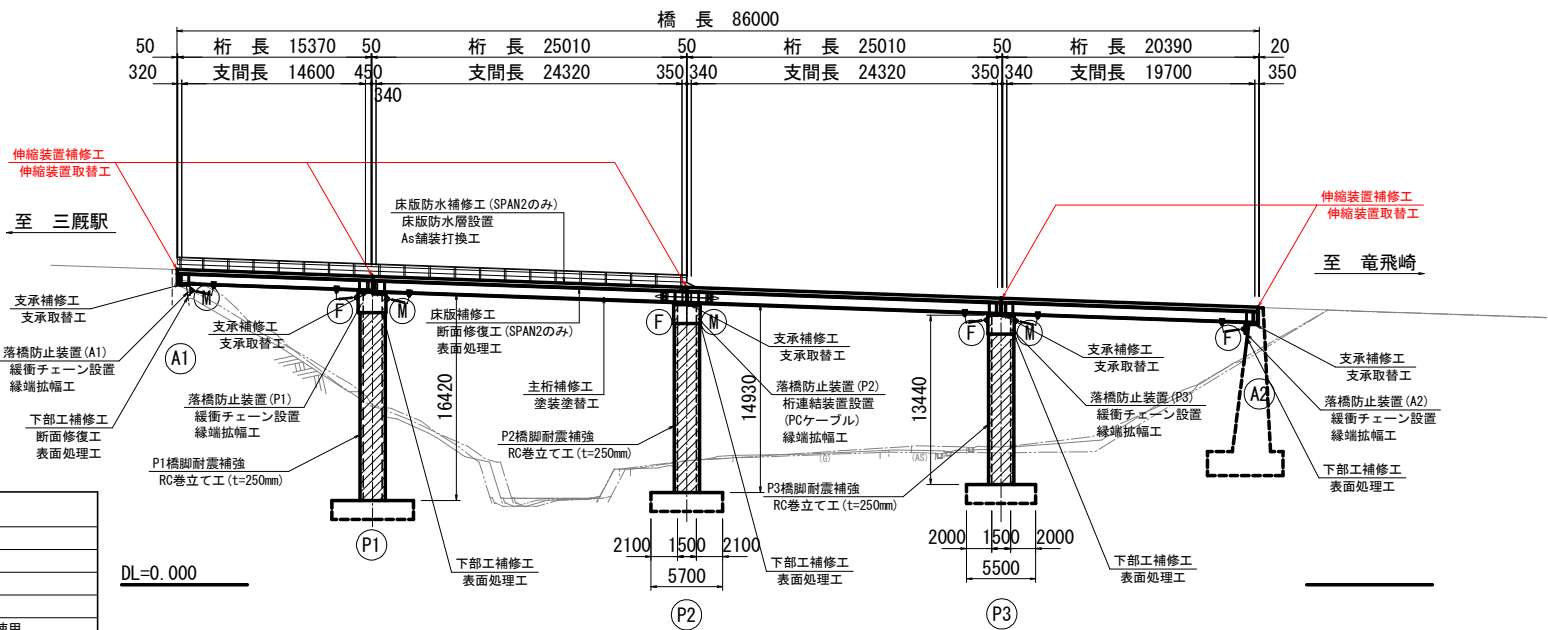


令和8年度 橋梁補修(宇鉄沢橋) 工事			
工事番号	線メンテ第361-1号		
路線 河川 名	三厩停車場電飛崎線		
施工箇所	東津軽郡外ヶ浜町 宇三厩元宇鉄 地内		
宇鉄沢橋補修・補強 一般図(1/2)	縮尺	図示	
図面番号	6 葉中 2		
青森県東青森土整備事務所			
青 森 県			

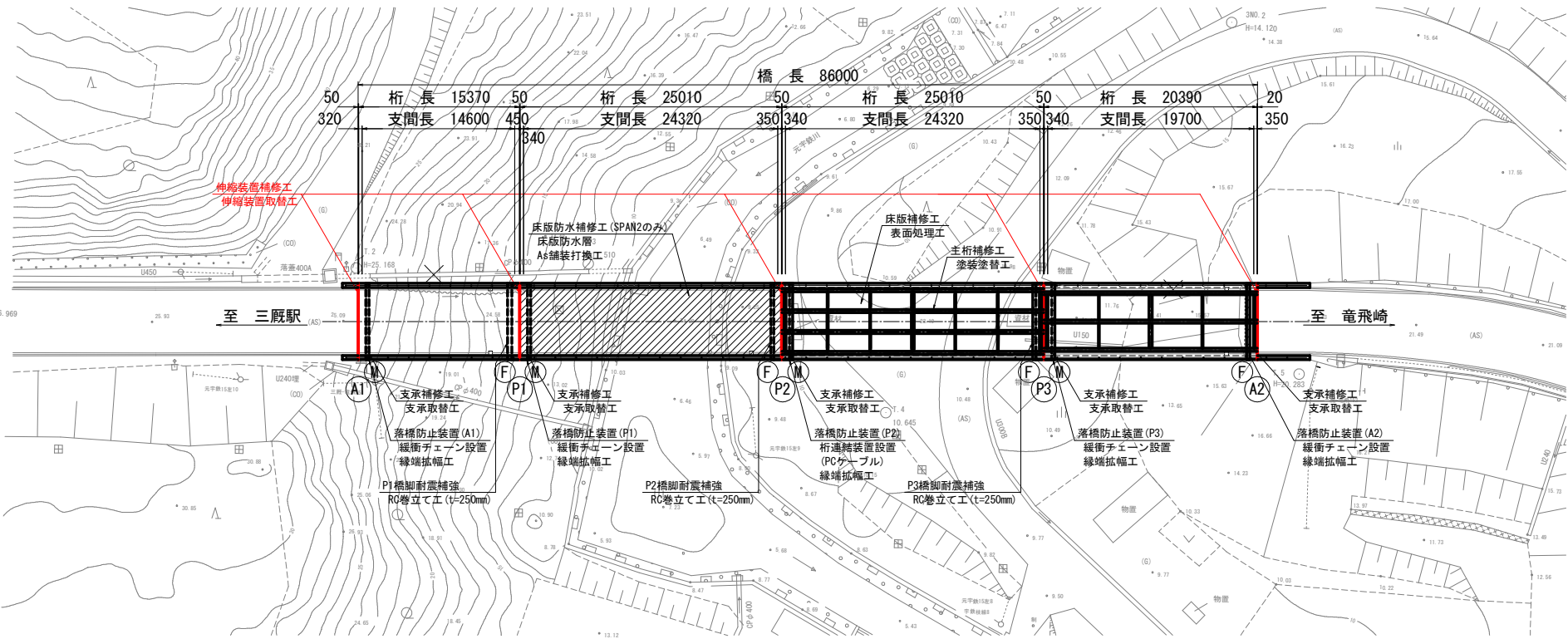
3  
91

宇鉄沢橋補修・補強一般図(1/2)

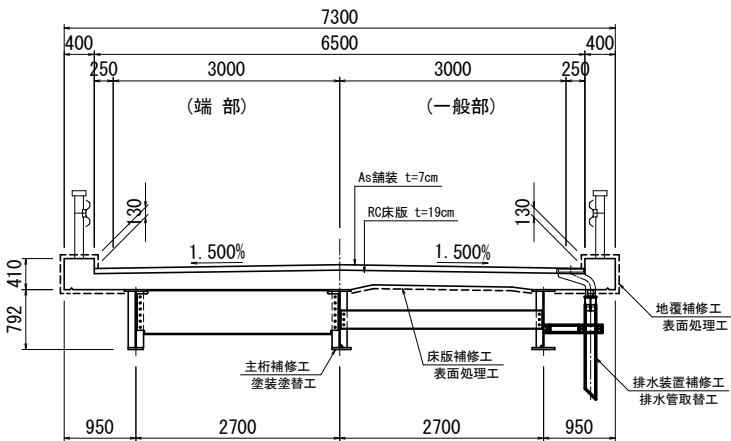
側 面 図 S=1:300



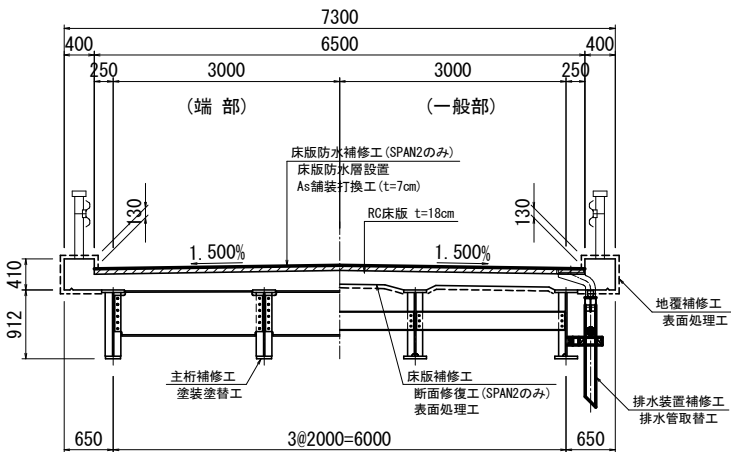
平 面 図 S=1:300



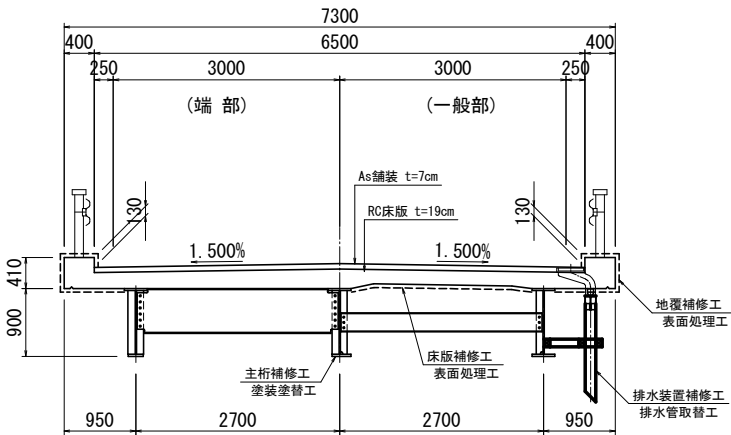
標準断面図 S=1:50  
(SPAN1)



標準断面図 S=1:50  
(SPAN2・3)



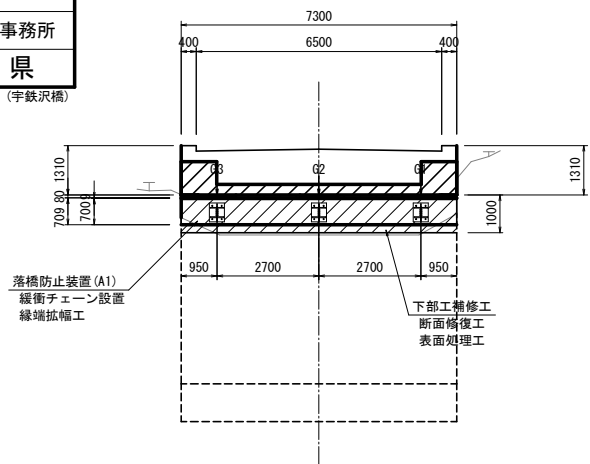
標準断面図 S=1:50  
(SPAN4)



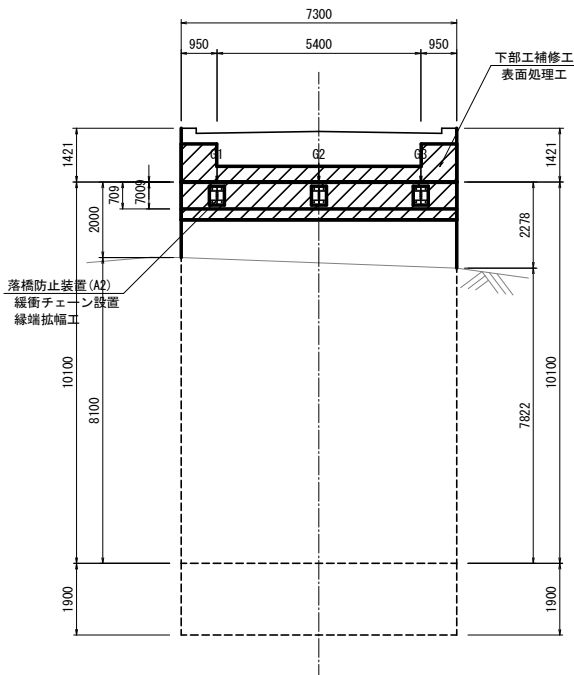
令和8年度 橋梁補修(宇鉄沢橋) 工事			
工事番号	線メンテ第361-1号		
路線 河川	三厩停車場電飛崎線		
施工箇所	東津軽郡外ヶ浜町 宇三厩元宇鉄 地内		
宇鉄沢橋補修・補強 一般図(2/2)	縮尺	図示	
図面番号	6 葉 中 3		
青森県東青森土整備事務所			
青 森 県			

4  
91

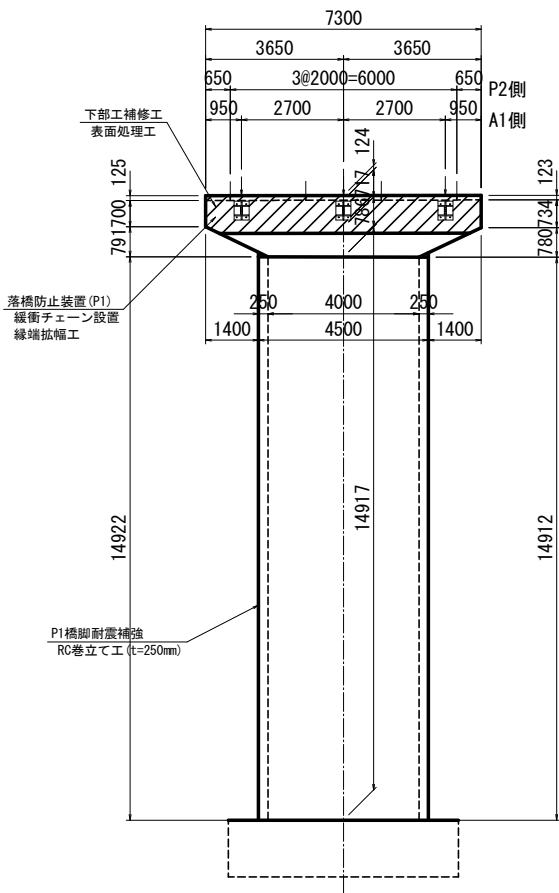
A1橋台正面図



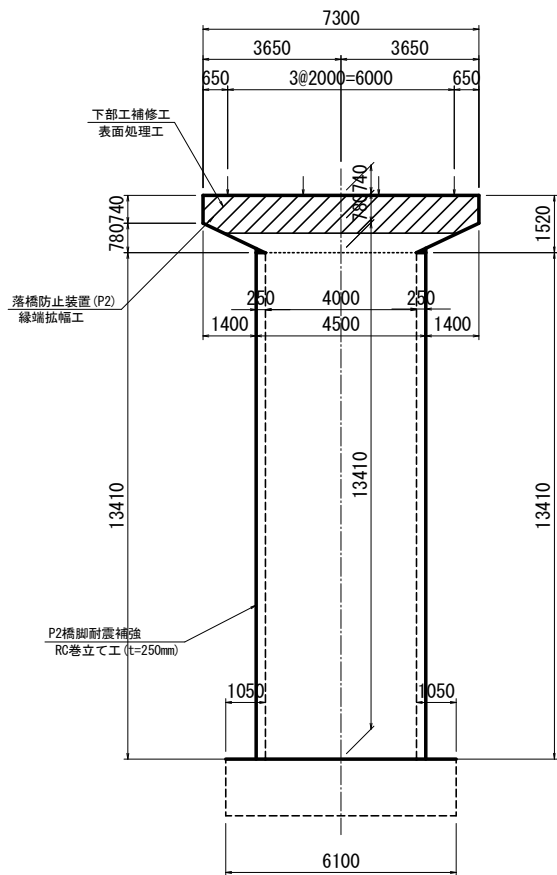
A2橋台正面図



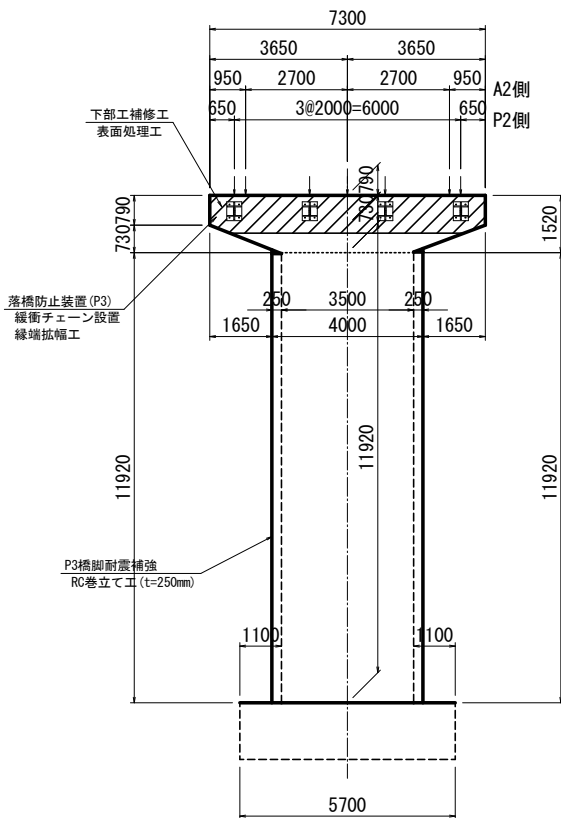
P1橋脚正面図



P2橋脚正面図



P3橋脚正面図



設計条件	
橋名	宇鉄沢橋 (ウテツワバシ)
路線名	一般県道 三厩 (T) 電飛崎線 (防災公共路線)
供用年月日	1976 (昭和51) 年1月 (経過年数47年)
設計活荷重	一等橋 (TL-20)
形式	単純鋼合成H桁橋 (4連)
橋長	86.000m
桁長	[SPAN1] L=15.370m, [SPAN2・3] L=25.010m (2連) [SPAN4] L=20.390m
支間長	[SPAN1] L=14.600m, [SPAN2・3] L=24.320m (2連) [SPAN4] L=19.700m
幅員	W=7.300m (有効幅員: 6.500m)
支承	ゴム支承
雪荷重	不明
斜角	90° 00' 00"
形式	躯体: 橋台: 半重力式橋台、橋脚: T型橋脚 (柱角) 基礎: 直接基礎
設計震度	不明
材料	コンクリート
鉄筋	不明
コンクリート	不明
鉄筋	不明
支持地盤	不明
適用基準	道路橋示方書1964 (昭和39) 年
交差条件	2級河川 元宇鉄川
添架物	無し
塩害対策区分	B - II

補修履歴	
平成21年度	【舗装】 As舗装打換え t=70mm 床版防水層 (塗膜系加熱型) 【防護欄】 塗装塗替え、笠木取替え 【伸縮装置】 伸縮装置取換え (埋設型) 【主桁・横桁】 塗装塗替え (c-1塗装系) 【床版】 ひびわれ補修工 (低圧注入) 【支承】 支承防錆工 (金属溶射) 【省座モルタル】 省座モルタル打換え工 【橋台】 断面修復工、表面処理工 (けい酸塩系) ひびわれ補修工 (低圧注入)

落橋防止システム	
支条件	ゴム支承 (レベル2対応)
A1橋台	桁かかり長 不足: 必要桁かかり長0.775m≧現況桁かかり長0.710m 軸方向落橋防止 必要: 単純桁が連続するため 緩衝チェーン 直角方向落橋防止 不要: 桁かかり長を満足しているため 水平力分担構造 不要: 支承レベル2対応
P1橋脚	桁かかり長 不足: 必要桁かかり長0.775m≧現況桁かかり長0.750m (起点側) 必要桁かかり長0.823m≧現況桁かかり長0.730m (終点側) 軸方向落橋防止 必要: 単純桁が連続するため 緩衝チェーン 直角方向落橋防止 不要: 桁かかり長を満足しているため 水平力分担構造 不要: 支承レベル2対応
P2橋脚	桁かかり長 不足: 必要桁かかり長0.823m≧現況桁かかり長0.750m (起点側) 必要桁かかり長0.823m≧現況桁かかり長0.750m (終点側) 軸方向落橋防止 必要: 単純桁が連続するため 桁連結装置 直角方向落橋防止 不要: 桁かかり長を満足しているため 水平力分担構造 不要: 支承レベル2対応
P3橋脚	桁かかり長 不足: 必要桁かかり長0.823m≧現況桁かかり長0.730m (起点側) 必要桁かかり長0.800m≧現況桁かかり長0.750m (終点側) 軸方向落橋防止 必要: 単純桁が連続するため 緩衝チェーン 直角方向落橋防止 不要: 桁かかり長を満足しているため 水平力分担構造 不要: 支承レベル2対応
A2橋台	桁かかり長 不足: 必要桁かかり長0.800m≧現況桁かかり長0.710m 軸方向落橋防止 必要: 単純桁が連続するため 緩衝チェーン 直角方向落橋防止 不要: 桁かかり長を満足しているため 水平力分担構造 不要: 支承レベル2対応

耐震補強設計条件	
耐震性能	耐震性能2
橋の重要区分	B種の橋
耐震性能照査における橋の限界状態の考え方	橋脚基部に生じる損傷の修復を容易に行える程度で抑える。
地域補正係数	B2地域 東津軽郡 (Cz:0.85, Clz:1.0 Clz:0.85)
地盤種別	I種地盤
主要な固有周期 T(s)	橋軸方向 橋軸直角方向
レベル2	P1 0.382 0.199 P2 0.373 0.182 P3 0.335 0.175
設計水平震度 kh	橋軸方向 橋軸直角方向
設計水平震度 khc	タイプI タイプII 橋軸方向 橋軸直角方向 橋軸方向 橋軸直角方向
レベル2	A1 0.63 0.63 0.76 0.76 P1 0.72 0.56 0.87 0.68 P2 0.68 0.52 0.83 0.63 P3 0.74 0.55 0.89 0.66 A2 0.63 0.63 0.76 0.76
下部工耐震補強	RC巻立て工 (t=250mm)
施工条件	軸方向鉄筋 P1: D29#125 (1本おき定着) P2: D32#125 (1本おき定着) P3: D32#250 (全定着) 帯鉄筋 P1: D16#150 P2: D19#150 P3: D19#150
維持管理条件	点検方法 橋梁点検車 検査路 上部工、下部工の検査路無し 点検時特記事項 柱基部から下記の高さが塑性ヒンジ長 (Lp) である。 P1: 橋軸方向: 800mm 橋軸直角方向: 1800mm P2: 橋軸方向: 800mm 橋軸直角方向: 1800mm P3: 橋軸方向: 800mm 橋軸直角方向: 1600mm 塑性化領域は4Lpである。 地震時点検では特に注意し損傷の有無を確認する事。
適用基準等	・道路橋示方書・同解説I~V (H24. 3) ・既設橋の耐震補強設計に関する技術資料 (H24. 11) ・道路橋示方書・同解説V 耐震設計編に関する参考資料 (H27. 3)

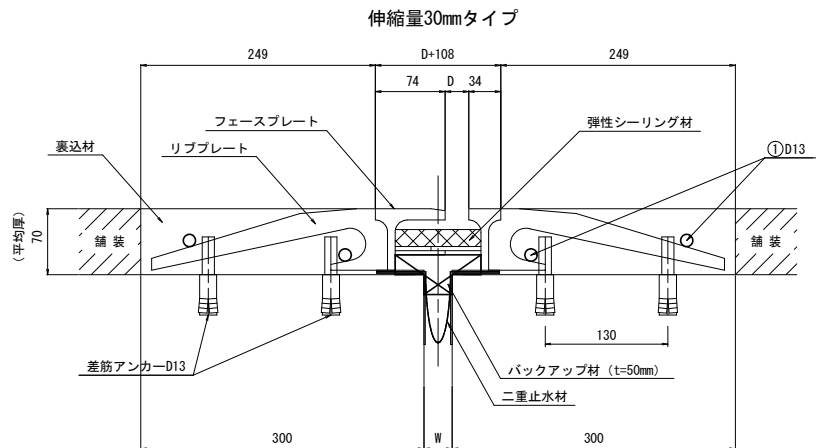
令和8年度 橋梁補修(宇鉄沢橋) 工事		
工事番号	線メンテ第361-1号	
路線 河川 名	三厩停車場電飛崎線	
施工箇所	東津軽郡外ヶ浜町 宇三厩元宇鉄 地内	
伸縮装置補修工図 (1/3)	縮尺	図示
図面番号	6 葉中	4
青森県東青県土整備事務所		
青 森 県		
(宇鉄沢橋)		

7  
91

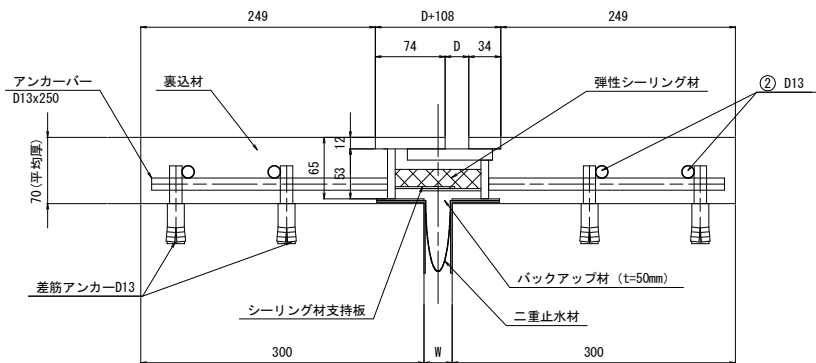
## 伸縮装置補修工図(1/3)

A1 橋台、P1～P3橋脚

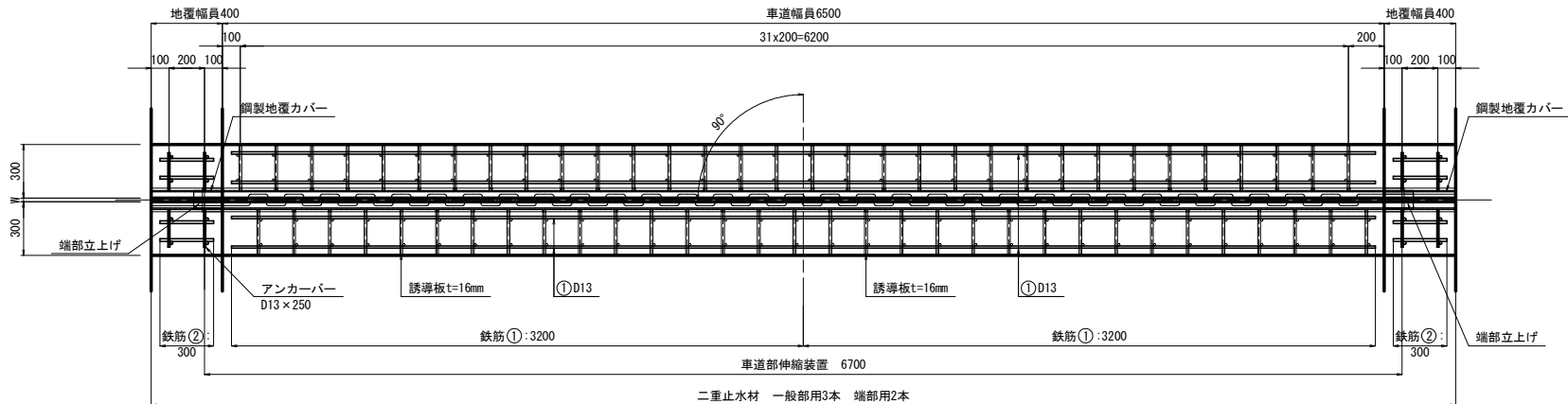
伸縮装置断面図 S=1:4



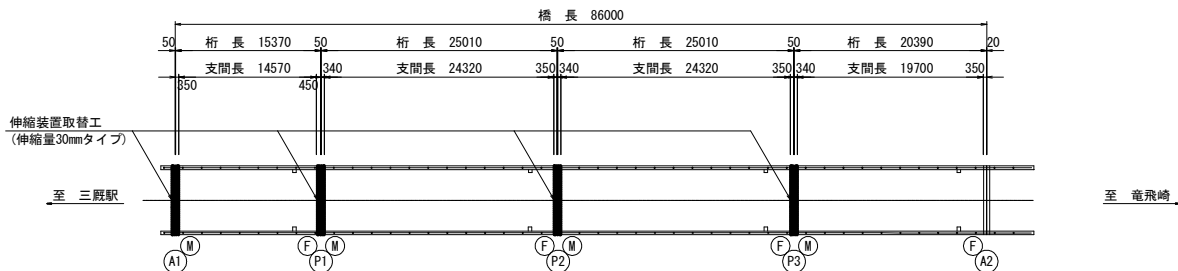
地覆部：伸縮量30mmタイプ



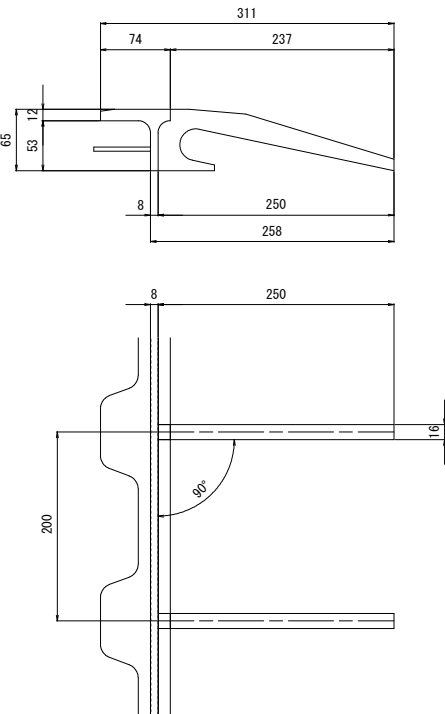
平面配筋図 S=1:20



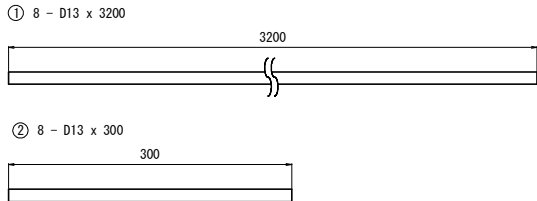
施工位置図 S=1:400



誘導板詳細図 S=1:4



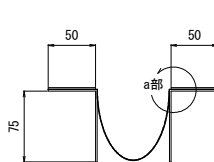
鉄筋加工図 S=1:4



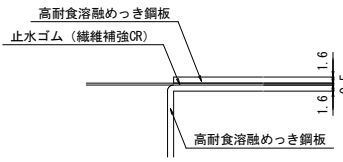
鉄筋質量表

番号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本あたりの質量	質 量	形 状	材 質	摘 要
①	D13	3200	8	0.995	3.18	25	—	S0345	
②	D13	300	8	0.995	0.30	3	—	S0345	
D13 合計						28	kg		
D13 差筋アンカー						144	本		

二重止水材詳細図 S=1:4

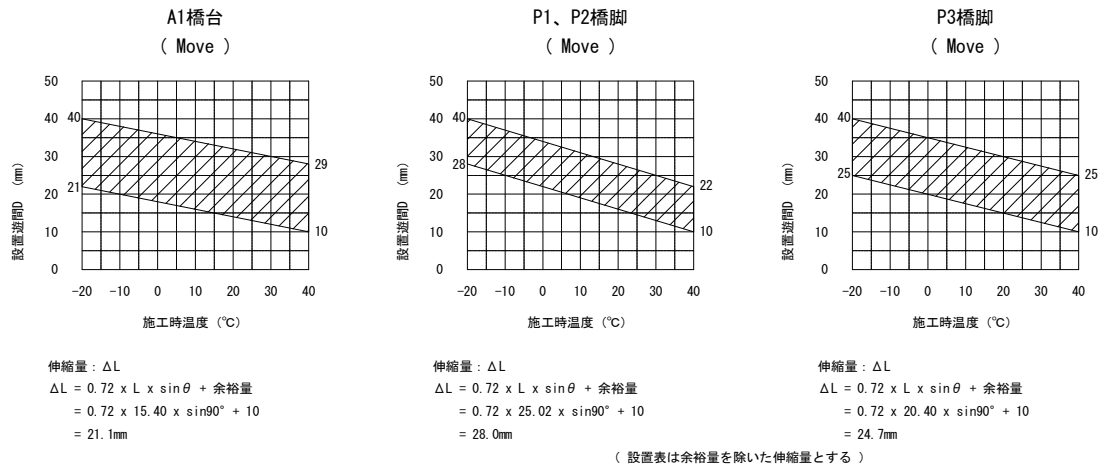


a部詳細図 S=1:1

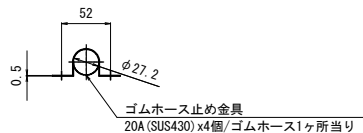


※はつり幅は現地裏込めコンクリート幅により変更のこと。  
※裏込めコンクリート幅が大きい場合は、差筋アンカー、補強鉄筋を追加すること。

設置遊間表



ホース止め金具詳細図 S=1:4



※) ゴムホース設置には足場が必要。  
※) ゴムホースは下部構造に水が掛からない位置まで延長し排水すること。  
※) ゴムホース延長は、仮定とする。各下部工に応じて増減のこと。

※ 注)  
1. 施工延長等は現場実測の上決定すること。

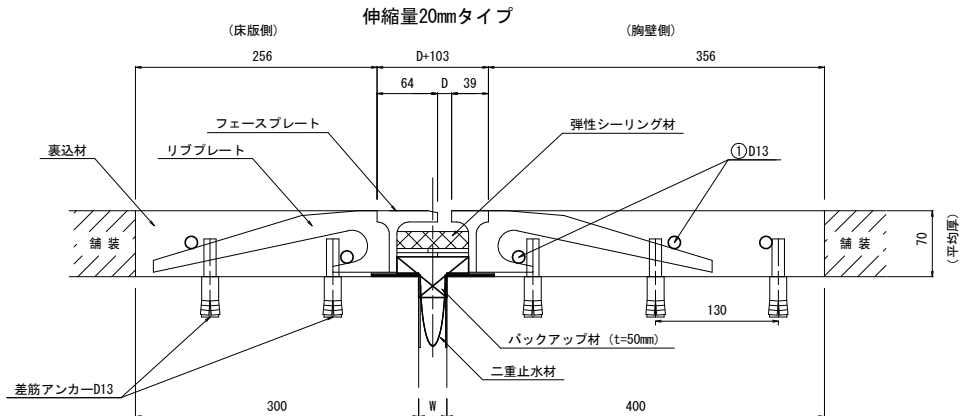
令和8年度 橋梁補修(宇鉄沢橋) 工事			
工事番号	緑メンテ第361-1号		
路線 河川	三厩停車場電飛崎線		
施工箇所	東津軽郡外ヶ浜町 宇三厩元宇鉄 地内		
伸縮装置補修工図 (2/3)	縮尺	図示	
図面番号	6 葉中 5		
青森県東青県土整備事務所			
青 森 県			

8  
91

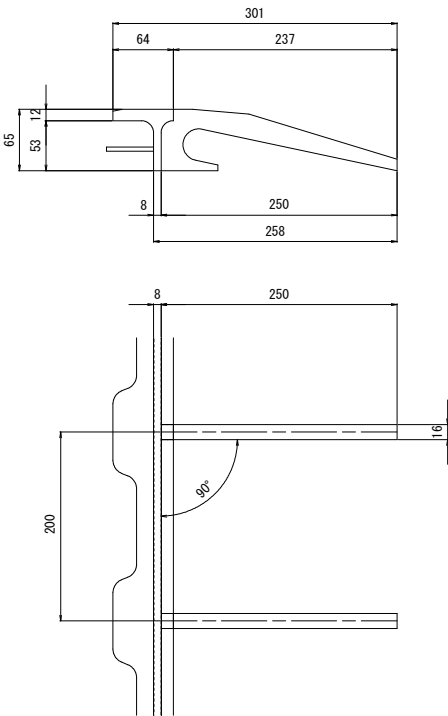
## 伸縮装置補修工図 (2/3)

A2 橋台

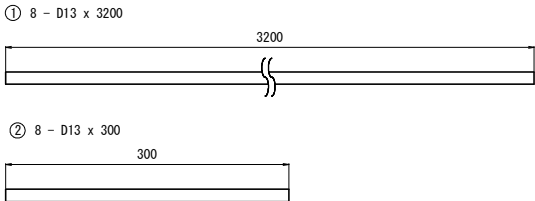
伸縮装置断面図 S=1:4



誘導板詳細図 S=1:4



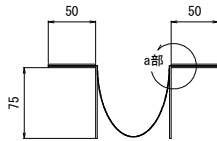
鉄筋加工図 S=1:4



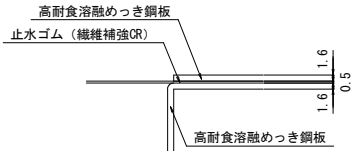
鉄筋質量表

番号	径	長さ	本数	単位重量	1本あたりの質量	質量	形状	材質	摘要
①	D13	3200	8	0.995	3.18	25	—	SD345	
②	D13	300	8	0.995	0.30	3	—	SD345	
D13 合計						28 kg			
D13 差筋アンカー						144 本			

二重止水材詳細図 S=1:4



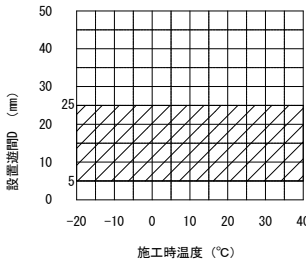
a部詳細図 S=1:1



※はつり幅は現地裏込めコンクリート幅により変更のこと。  
※裏込めコンクリート幅が大きい場合は、差筋アンカー、補強鉄筋を追加すること。

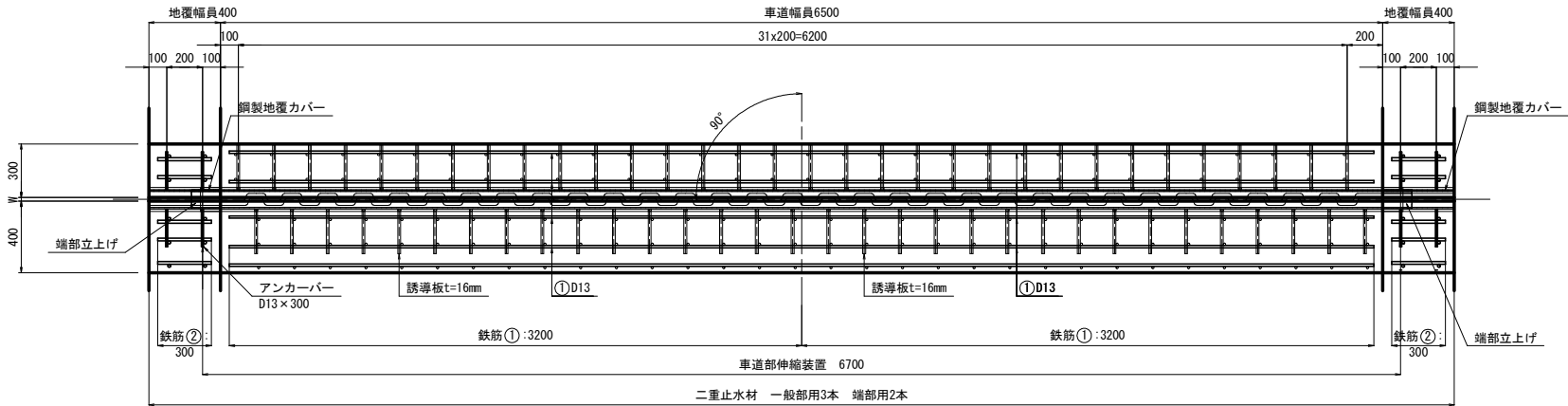
設置遊間表

(Fix)

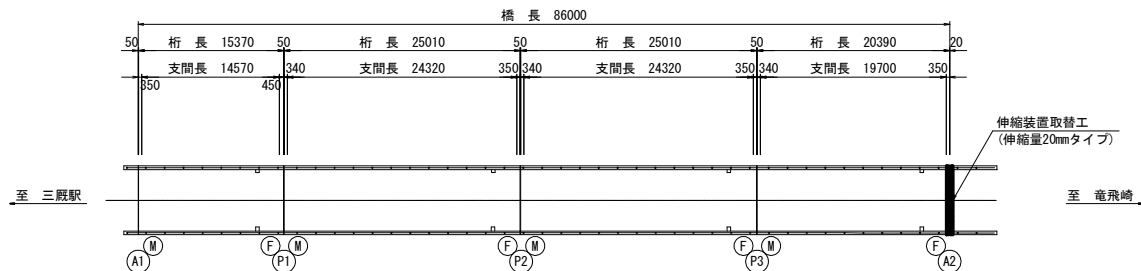


伸縮量: ΔL  
ΔL = 0 mm  
( 設置表は余裕量を除いた伸縮量とする )

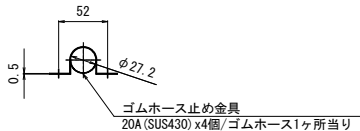
平面配筋図 S=1:20



施工位置図 S=1:400



ホース止め金具詳細図 S=1:4



※) ゴムホース設置には足場が必要。  
※) ゴムホースは下部構造に水が掛からない位置まで延長し排水すること。  
※) ゴムホース延長は、仮定とする。各下部工に応じて増減のこと。

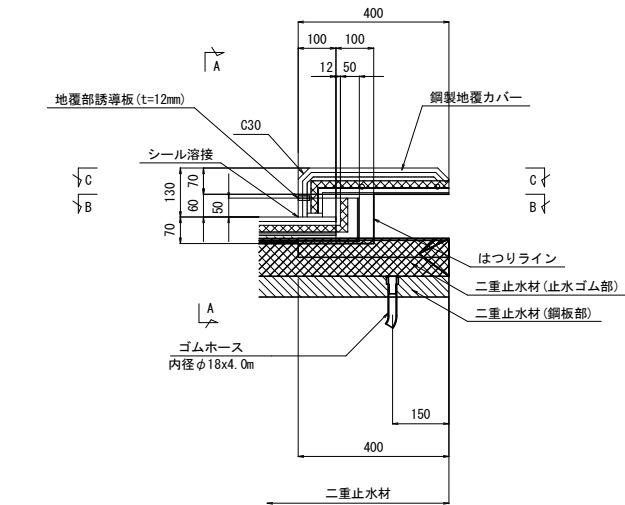
※ 注)  
1. 施工延長等は現場実測の上決定すること。

令和8年度 橋梁補修(宇鉄沢橋) 工事			
工事番号	緑メンテ第361-1号		
路線 河川 名	三厩停車場電飛崎線		
施工箇所	東津軽郡外ヶ浜町 宇三厩元宇鉄 地内		
伸縮装置補修工図 (3/3)	縮尺	図示	
図面番号	6	葉中	6
青森県東青県土整備事務所			
青 森 県			
(宇鉄沢橋)			

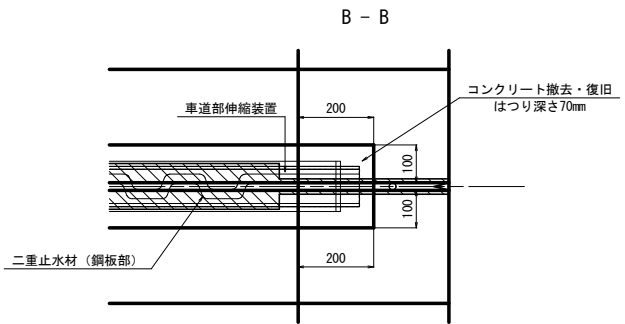
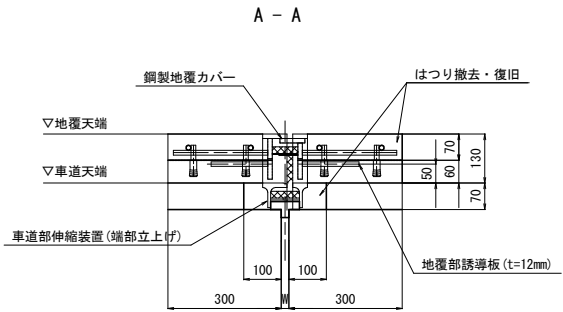
9  
91

伸縮装置補修工図(3/3)

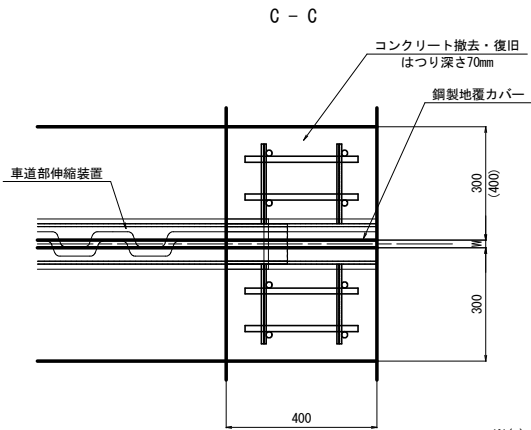
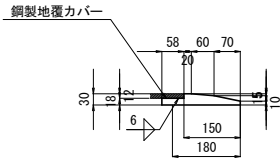
目地処理詳細図 S=1:10



※伸縮装置本体端部を地覆部に埋め込むため製作延長は6700mmとする。



地覆部誘導板詳細図



※( )内は、A2橋台部を示す